

世界遺産まちづくりシンポジウム in 荒尾

2015(平成27)年7月に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産として万田坑や専用鉄道敷跡などの三池炭鉱関連遺産が世界文化遺産に登録され、はや2年以上が経過しました。

そこで、本シンポジウムでは、世界遺産をはじめ地域の歴史遺産などを活用したまちづくりの現状や、その担い手である人づくりの可能性などについて、教育、観光、まちづくりなどの分野で本市と関わりのある方々による講演やディスカッションを行い、炭都の未来(あした)について熱く語り合ってください。

【基調講演】

地域の歴史を活用したまちづくりの可能性



星乃 治彦氏 (福岡大学人文学部 教授)

(福岡・東アジア・地域共生研究所所長)

ほしの はるひこ 1955年 熊本市生まれ

専門は歴史学(ドイツ近現代史)。歴史学の分野では「地域」を切り口とした学生教育に长年取り組むとともに、2011(H23)年に地域の活性化や課題解決をテーマにした研究所を立ち上げ、同研究所の所長として多様な分野の研究者と自治体・NPO・市民等とが連携協力した地域づくりの企画及び実践活動を進めている。荒尾市と同研究所が共同で取り組んできた郷土の文化資源を活用した歴史まちづくりプロジェクトの代表を務めている。

研究者と自治体・NPO・市民等とが連携協力した地域づくりの企画及び実践活動を進めている。荒尾市と同研究所が共同で取り組んできた郷土の文化資源を活用した歴史まちづくりプロジェクトの代表を務めている。

世界遺産の現在と将来 一過去の記録を未来へと伝えるために



本中 眞氏

(内閣官房 産業遺産の世界遺産登録推進室 内閣参事官)

もとなか まこと 1954年 大阪市生まれ

2015(H27)年3月まで文化庁主任文化財調査官として、名勝・文化的景観・世界遺産の保護に携わり、庭園や石垣など文化財の選定保存技術の継承にも力を注ぐ。

現在、内閣官房内閣参事官として世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の保全施策に従事。

※パネルディスカッションのコメンテーターとしても参加して頂きます

パネルディスカッション 「世界遺産は炭都の未来(まち・ひと・なりわい)を生み出すか？」

【コーディネーター】

松浦 雄介氏 (熊本大学文学部教授)

まつうら ゆうすけ 1973年 京都府生まれ

社会学を専門とし、三池炭鉱をフィールドに集合的記憶の形成や文化資源を活用した地域の形成等に関する研究を行っている。2011(H23)年より3度にわたり熊本大学の学生たちと三池炭鉱をフィールドに聞き取り調査を実施し、その成果を報告書にまとめている。



永尾 則行氏 (荒尾市教育委員会 教育長)

ながお のりゆき 1955年 荒尾市生まれ

1979(S54)年、上益城郡清和村立清和小学校に着任。その後、熊本市や荒尾市の小学校で教鞭をとる。

熊本県教育委員会玉名教育事務所指導主事(荒尾市派遣)を経て、荒尾市立荒尾第二小学校、荒尾市立緑ヶ丘小学校、荒尾市立中央小学校の校長を歴任。2016(H28)年4月から荒尾市教育委員会教育長として現在に至る。



瀬戸 洋氏 (万田坑ファン倶楽部 会長)

せと ひろし 1942年 熊本市生まれ

熊本大学卒業後、国立有明高等専門学校、熊本大学で教鞭をとる。退官後、2007(H19)年に万田坑ファン倶楽部入会。2012(H24)年から会長に就任し、万田坑のガイド業務等に従事。



伊原 和彦氏 (ETC 教育旅行コンサルタント 代表)

いはら かずひこ 1967年 神戸市生まれ

大手旅行代理店入社以来、約20年にわたり、主に神戸、芦屋、西宮市内の教育旅行を担当し、教育旅行業界を牽引。特に早くから体験型修学旅行や民泊による教育旅行が、教育的効果が高いことを熟知し推進。

数々の自治体の観光協会や受入協議会等、教育旅行・民泊誘致に携わる。荒尾市や大牟田市でもアドバイス・研修・講演等を行っている。2013(H25)年内閣官房『地域活性化伝道師』に任命され現在に至る。



安田 昌則氏 (大牟田市教育委員会 教育長)

やすだ まさのり 1954年 大牟田市生まれ

大牟田市内小学校長や南筑後教育事務所、大牟田市教育委員会指導主事、指導室長等を歴任。2008(H20)年1月、明治小学校長当時に「第4回全国小学校英語活動実践研究大会」を開催。2014(H26)年3月教育長就任後は、大牟田市において九州初となる「第6回世界遺産学習全国サミットinおおむた」《2014(H27)年》や「第9回ユネスコスクール全国大会」《2017(H29)年》の開催など、大牟田市のESDの取組を全国へ情報発信。また、平成28年には、東京大学海洋教育アライアンス海洋教育促進研究センターと海洋教育促進拠点としての連携に関する協定を締結するなど様々な取組を行っている。現在、日本ESD学会理事、全国小学校英語活動実践研究会顧問を務める。



山代 秀徳氏 (一般社団法人 荒尾市観光協会 会長)

やましろ ひでのり 1955年 荒尾市生まれ

1978(S53)年、有限会社荒尾タクシー入社、1989(H1)年から有限会社荒尾タクシー代表取締役。2010(H22)年から荒尾商工会議所副会頭、荒尾市観光協会会長、現在に至る。2011(H23)年度から観光協会会長として万田坑の指定管理業務に関わる。



山田 雄三氏 (福岡大学 福岡・東アジア・地域共生研究所 研究員)

やまだ ゆうぞう 1978年 徳島市生まれ

専門は地域共生学、歴史学。地域連携コーディネーターとして多様な分野のまちづくりプロジェクトの企画・立ち上げに携わるとともに、「地域の記憶プロジェクト」として、地域住民と協力して地域の古い写真や資料、証言等を収集・保存し、まちづくりの資源として活用していく取組を各地で展開している。

